

氏名	千葉 真希子	部署	看護学科	職名	助教
研究分野	母性看護学、助産学、国際協力				
学位	修士（国際医療協力）				
学歴	2002年茨城県立大学保健医療学部看護学科卒業、2006年千葉県医療技術大学校助産学科卒業、2016年杏林大学大学院国際協力研究科国際医療協力専攻博士前期課程修了				
経歴	2018年埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科助教				
所属学会（役職）	日本看護科学学会、日本助産学会、日本母性衛生学会、日本母性看護学会、日本国際保健医療学会、日本看護シミュレーションラーニング学会、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会				

【2024年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作(著書及びその他の著作物)							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月	
1	該当なし						
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	該当なし						
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	該当なし						
(4) その他							
	名称	単・共	発表場所等		発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	該当なし						
2. 競争的資金等の研究							
	競争的資金等の名称	研究名		研究代表者・研究分担者の別	研究期間		
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）	「気がかりな」外国人妊産婦の心理社会的ハイリスクスクリーニング指標の開発		研究代表者	2023.4～2027.3		
3. 教育業績							
(1) 講義							
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）			
1	該当なし						
(2) 演習							
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）			
1	分娩期のケア		20	助産系4年次生22名に、学生が各演習の目標達成や臨地実習等での実践をイメージしながら安全・安楽に配慮した演習等ができるよう、産痛緩和（体位）演習(主担当)、分娩介助演習、産痛緩和（アロマ）（補佐）等の補佐を行った。			
(3) 実習							
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）			
1	母性看護学実習		2024.5.～2024.6	看護学科3年次生の母性実習1（産科病棟実習）（1週間）・実習2（性と生殖におけるヘルスプロモーションの実習）（5週）において、学生が安全に実習し、目標到達ができるよう臨地実習および見学実習、カンファレンス等を行った。			
(4) 論文指導							
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数				
1	該当なし		主指導	0名	副指導 0名		

(5) その他				
	名称	期間	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)	
1	該当なし			
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	該当なし			
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期	
1	該当なし			
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容	期間	
1	全学的委員会及びセンター業務等	IPW科目責任者会のWebclass、会計・機器貸出し担当として、説明会資料作成やWebclassの整備、および関連アンケートの取りまとめを担当した。	2024.4～2025.3 (7月～11月休職により中断)	
2	全学的委員会及びセンター業務等	国際交流委員会として中国 山西医科大学受け入れについての検討等を行った。	2024.4～2024.6	
3	学生支援	4年生から、卒業研究や就職先等の進路等の相談を受けた。	2024.4～2024.6	
6. 受賞 (研究、教育、社会貢献活動に関するもの)				
	受賞名	主催	受賞年月	
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号	登録年月	
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	該当なし			